

第3学年 算数科「長い長さをはかって表そう」

本單元における学習者用端末の利活用

○手だて

・身の回りのものの長さを測る方法の1つとして学習者用端末内の計測アプリを活用し、量感を身に付けさせる活動を行う。→個別最適な学び

・距離と道のりの違いについて実感させるために、マップや Google Earth の機能を活用し、学校周辺や国内外の様々な地点間の道のりと距離を調べる活動を行う。→個別最適な学び

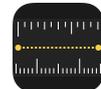
○使用したアプリやコンテンツ



本時の展開

【ねらい:身近なものの長さや道のり、距離を測り量感を身に付けさせる。】

	分	主な学習活動
導入	5	1 学校の校庭で測ってみたいものを考える。 2 国内外の地点で距離や道のりを測ってみたいところを考える。
展開	30	3 巻き尺、長さ計測カウンタ、学習者用端末を用いて、校庭にあるもの(サッカーゴールの幅、鉄棒、木の幹など)や歩いた距離などを計測、記録する。 4 学校から自宅までの距離と道のりを、学習者用端末を利用して調べる。 身近なものの長さや道のり、きよりははかろう。 5 国内外の地点を選び、距離を調べる。
まとめ	10	6 1mより長い長さについて、実際に体感して気付いたことを話し合う。 7 学校から自宅までの距離と道のりの違いについて気付いたことを話し合う。 8 国内外の地点の距離で調べたことを発表する。



成果と課題

- ・学習者用端末を利用することで児童の学習への意欲は高まり、学びに向かう態度を育むことができた。
- ・道のりを調べると移動にかかる時間が分かり、実感をもって道のりと距離の違いを感じることができた。
- ・具体物を操作した学習は児童の学習意欲を高めることができるが、全ての單元において取り入れることは難しい。單元計画を立てる際に、学習目標の達成に具体的操作活動やICT機器の活用が有効であるかを検討する必要がある。